

新学習指導要領への移行を踏まえた実践研究

Change! Chance! Challenge! Create! Continue!

令和元年度（2019年度） 熊本県立松橋支援学校

「公開研究発表会」（第2次案内）

研究テーマ

**「将来の豊かな人生を切り拓く
よりよい授業の在り方を求めて」**

★★追究内容★★

新学習指導要領を踏まえた本校の特色を生かす教育理念・目標とは…

「将来の豊かな人生」とは…、「よりよい授業」とは…

教育的ニーズに対応し、「生きる力」の高まりに通じる教育内容とは…

PDCA サイクルによる効果的、効率的な授業づくりとは…

実践に有効活用できる活用度の高いツールとは…

専門性の向上に通じる研修の在り方とは…

日時

令和元年(2019年)12月7日(土)9:30~15:30

会場

熊本県立松橋支援学校

〒869-0543 宇城市松橋町南豊崎 252

参加申込

別紙参加申込書に必要事項を御記入のうえ、Fax
またはメールでお申し込みください。（鑑文不要）

締切：令和元年（2019年）11月1日（金）

連絡先

教頭：鳥飼 英 研究研修部：早水 一晃
TEL 0964-32-0729 FAX 0964-32-0565
E-mail matsubase-s@pref.kumamoto.lg.jp



日 程

9:00	9:30	10:00	12:00	13:00	14:00	15:30
受付	全体会 研究概要 説明	公開授業 各学部の授業を自由参観 スーパーティーチャー公開授業含む	昼食 休憩	ポスター 発表	指導助言 及び 講演	終了

指導助言 及び 講演

○公開授業、ポスターセッションへの指導助言

○講演 「将来の豊かな人生を切り拓くよりよい授業の在り方について」

助言者：西九州大学 教授 古川 勝也 様 元文部科学省初等中等教育局 特別支援教育調査官

公開授業

小学部 (肢体不自由)	○自立活動（１年）「教師とやりとりしながら好きな玩具を動かそう」 好きな玩具を見る、見たら玩具で楽しむことができる、「もう一度やりたい」と教師の顔を見て伝える、などのやりとりを重ね、相手に伝える力を身に付けていきます。 ○自立活動（５年）「代替手段を使ってコミュニケーションを楽しもう」 代替手段を使って発表したり、依頼をしたりする学習を通して、本人の想いや気持ちを相手に伝える力をつけます。
中学部 (肢体不自由)	○自立活動（１年）「つまむ？にぎる？つかむ？」 手や指の様々な動きを獲得する学習を通して、日常生活やいろいろな学習に取り組むために必要な動作の向上を目指します。 ○自立活動（２年）「よく見て手を動かそう」 目と手の協応力を高めることを目的とした活動を通して、日常生活や様々な学習で活用できる力を身につけます。
高等部 重複障がい 学級 (肢体不自由)	○生活単元学習（１～３年）「松支２組★ＨＰＰ（ハッピープラン）総選挙～私たちが“つくる”よりよい学校～」 ３学期に実施したい行事を、生徒一人一人が立案。重複学級全員の前で、プレゼンテーションソフトウェアを用いて提案します。その後「松支２組★ＨＰＰ総選挙」と称して、投票により行事を選び、実現可能なものへと練り上げます。 生徒自身が“よりよい学校生活づくり”（社会における「政治」）に参画し、「知り・考え・意見を持ち・論じ・決める」ことを目指します。

	○自立活動（２年）「形や色の弁別をしよう」 リング差しや型はめ等の教材を使って、見本項や選択項をしっかりと見たり、それぞれを見比べたりしながら、同じ形や色を選び取る学習を行います。生徒が将来作業的な活動や生活に必要ないろいろな物の操作を行うことができる力を培います。
高等部 一般学級 (肢体不自由)	○産業と社会（１年）「コミュニケーションスキルを高めよう」 生活における事例を用いて、ロールプレイングをしながら、より良いコミュニケーションの方法について深めます。 ○産業と社会（２年）「コミュニケーションスキルを高めよう」 日常生活の具体的な場面を設定して、相手の話を聞く力、会話を深める力などコミュニケーションスキルを高める学習に取り組みます。 ○国語総合（３年）「相手の気持ちを考えた発言をしよう」 いくつかの具体的事例をもとに、相手の気持ちを考え、好ましいコミュニケーションの方法を学びます。 ○生物基礎（３年）「遺伝情報とDNA」 実験を通して、すべての生物は遺伝情報を担う物質として DNA を持っていることを学習します。
高等部 専門学科 (軽度知的障がい)	○自立活動（１年）「衣服の手入れと管理」 自分たちが着ている服の取扱い絵表示に着目して、手入れや管理についての学習を行います。身のまわりにある衣服を使って学習に取り組むことで、現在や卒業後の生活に生かす力を身につけます。 ○国語（１年）「日常生活に必要な語句・文章」 食品パッケージを用いて、材料や使用法、料理の手順などを正しく読み取る学習に取り組みます。また、それを元に、どのような物を選び・購入するか、それをどのように使うのかをワークシートにまとめ、将来の自立した生活を視野に入れながら学習します。 ○社会（１年）「生産から消費のへの流れ」 商品がどのような形で私達のもとへ届くかを学習します。私達が食事をするまでにどれだけの人や企業が関わっているかを理解し、今後の生活に生かして行きます。 ○自立活動（２年）「グループ別学習 ①個別の課題学習（手指の操作性、認知トレーニング等） ②コミュニケーション ③自己理解」 グループに分かれ、自分で目標を立ててそれぞれの学習に取り組みます。 ○情報モラル（２年）「携帯・スマホのルールとマナー」 様々な事例について、グループで話し合い、発表し、正しい活用方法や対応策について学習します。 ○情報ＰＣ（２年）「修学旅行調べ」 修学旅行の行き先について、これまで学んできたことを、グループごとにプレゼンテーションソフトウェアでまとめて発表し合います。文字の大きさや図の配置などを工夫し、見やすい発表を考え意見交換をします。 ○数学（３年）「消費税と割引の計算」 消費税の計算や割引の計算の学習を行います。買い物等、実際の場面を想定した問題に取り組むことで、現在や卒業後の生活に生かす力を身につけます。

	○社会（３年）「役所でできる手続き」 住民票の発行、婚姻届や出生届の届出、印鑑登録等について、実際に各種用紙に必要事項を記入しながら、役所でできる主な手続きの仕方や流れを理解します。
	○専門【園芸】（３年園芸科）「鉢花の栽培管理」 鉢花（サイネリア）の栽培管理を行います。また、自己評価シートを活用しての目標設定と振り返り等を通して、働く力・態度を身につけます。
	○専門【工芸】（３年工芸科）「販売会に向けた製品作り」 各作業工程に分かれて材料加工に取り組みます。各工程のリーダーを中心にして、仕上がりの確認やアドバイスをを行い、よりよい製品作りを目指していきます。また、自己評価シートを活用しての目標設定と振り返り等を通して働く力・態度を身につけます。

ポスター発表

小学部 (肢体不自由)	○コミュニケーションの基礎となる、見る、受け止める、反応するやりとりを目指して 好きな玩具を見る、見たら玩具で楽しむことができる、「もう一度やりたい」と教師の顔を見て伝える、などのやりとりを重ね、相手に伝える力を身に付ける授業実践を紹介します。
	○代替手段を使ってコミュニケーションを楽しもう 代替手段を使って、発表したり、依頼したりする学習を通して、本人の想いや気持ちを相手に伝える力をつける授業実践を紹介します。
中学部 (肢体不自由)	○自立活動と各学習の関連性を考えた授業改善の工夫～手の動きの広がりによる生活動作の向上を目指して～ 自立活動において獲得した「手や指の様々な動き」を、日常生活での動作（今回は食事に着目）や生活単元学習、美術、音楽などの学習で活かす力を身につける授業実践を紹介します。
	○日常生活や各学習につなげるための自立活動 日常生活や各学習における力が、どのような自立活動を通して身についたか、今後どのような力をつけていくかということを、生徒の事例を中心に紹介します。
高等部 (肢体不自由)	○卒業後の生活を見据えた授業実践に向けて～学部研の取組～ 「身につけたい力共有シート重複学級版」の検討と、学部内で定期的に教師の入れ替え授業週間を設ける取組を通して、重複障がい学級としての身につけたい力を明確化し、幅広い生徒の実態を共有した授業の展開・改善を目指します。
	○各種ツールとチェックリストを活用したコミュニケーションスキル向上に向けた授業実践 「身につけたい力共有シート（普通科一般学級版）」を活用し、各学年、各教科等で行ったコミュニケーションスキル向上を目的とした授業実践を紹介します。
高等部 専門学科 (軽度知的障がい)	○進路指導の実際 高等部専門学科の進路指導の３つの柱である、「進路学習」、「現場実習」、「アフターケア（関係機関との連携）」を中心に生徒の社会的・職業的自立につながる力の育成を目指す進路指導の実践について紹介します。

	○自立活動の取組 「身につけたい力」共有シートを活用した自立活動の実践と、専門学科の自立活動の取組について紹介します。
高等部 氷川分教室 (知的障がい)	○場に応じたコミュニケーションに関する自立活動の取組 知的障がいのある生徒に対する自立活動の取組。様々な場面に応じたコミュニケーションの指導の実践について紹介します。 ○話の聞き方、話し方に関する自立活動の取組 知的障がいのある生徒に対する自立活動の取組。相手に分かりやすく話したり、内容を理解しながら話を聞いたりする指導の実践について紹介します。
寄宿舍	○卒業後の自立した生活に向けての取組 卒業後の自立した生活に向けて寄宿舍で育成したい資質や力について、生活場面における指導の実際と、一斉指導の形態での実践について紹介します。 ○防災教育に関する取組 熊本地震から、現在に至る本校寄宿舍の地震に関する防災教育について紹介します。

公開研究発表会に参加される方へ

◎公開研究発表会当日は、上履きを御持参ください。

◎御弁当の注文（５００円）を御希望される方（お茶は各自でご準備ください）は、申込書に希望の有無を御記入ください。